

# Radiol8

## ～Can you here my radio?～

代表者 白川 果歩 (経済学部経済学科2年)

### 1. 目的と概要

本プロジェクトは、FM高松にて月に1回放送しているラジオ番組「Art Time Junction」の制作を通して、「香大生が香川の魅力を伝える」という活動である。この活動を行っている本団体「Radiol8」は、今年度で11周年を迎えた。今年度も、ラジオ番組「Art Time Junction」の制作を主軸として、様々な活動を行ってきた。また、昨年度と引き続き、子どもセミナーや外部講師による講演会といった、学内外の方々と交流するイベントを行うことが出来た。本番組は、香大生の夢チャレンジプロジェクトのご支援により、2023年7月から2024年3月にかけて、1時間尺の番組を計9本制作した。そして、FM高松にて毎月第4水曜日の22時から放送した。

### 2. 実施期間（実施日）

令和5年7月1日から 令和6年3月31日まで

### 3. 成果の内容及びその分析・評価等

本プロジェクトでは、毎月第4水曜日の22時から1時間FM高松にて「Art Time Junction」という番組を放送している。今年度は「Radiol8～Can you here my radio?～」をテーマに番組放送を行った。今年度は本プロジェクトの体制の見直しに力を入れて活動をしており、取材の方法や役割の分担、機材についての理解、各々の活躍できる環境等基盤を構築することを通して、プロジェクトとしての意義を見つめ直す年となった。

学外への取材としては、数珠つなぎ企画を行った。取材先から連想される言葉から次の取材先を数珠繋ぎ上に決めて行くという企画だ。取材先について学生全員で調べ、疑問や質問を考えることから始まり、事前に連絡を取っている方へ疑問を投げかけることで、香川県や現場で活躍されている方々の魅力を発信してきた。

学内への取材としては、香川大学の関係者を主体とする団体や個人を取材し、香川大

学の魅力や活躍を発信した。取材は、団体の活動に本プロジェクトのメンバーが実際に参加させていただき、「潜入調査」という形をとった。そして、その様子をレポートし発信した。

また、昨年に引き続き、「子どもセミナー」を行った。昨年と同様に若者のラジオ離れ問題を解決すべく、ラジオ番組に触れる機会やマイクを通して話すことの楽しさを提供するために開催した。本セミナーは8月6日に応募して下さった1人の小学生を対象に行った。昨今問題となっているメディアリテラシー等を分かりやすく小学生に教える講座や「好きなこと」をテーマに話題を制作し、収録を行った。

また、今年度もトーク力のスキルアップのため、リンクアップとっしー氏をゲストとして招き、講演会や収録を通して、番組をより良くする方法について学んだ。

取材した場所（数珠つなぎ企画）	放送日
石丸製麺	6月
伊吹島編	7月
ひょうげまつり	9月
屋島寺	11月

取材した団体・個人（潜入調査）	放送日
香川大学幸町キャンパス食堂	4月
児童研究会	5月
瀬戸内地域活性プロジェクト 善通寺みりょく本づくり	6月
TERASU	7月・9月
EPD	7月
劇団empty	10月
二ツ山研究室	12月



画像1 子どもセミナーの様子



画像2 TERASU への潜入調査



画像 3 伊吹島への数珠つなぎ企画



画像 4 リンクアップとっしー氏による講演会

#### 4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

本プロジェクトで今年度行った事業は、前年度と同様、学内外の団体と関わることが多かった。そのため、本学や地域社会に与えた影響・効果は複数挙げられると考える。

まず挙げられるのは、香川大学内の団体、特に地域に根ざして活動している団体を、ラジオを通して紹介できたことである。取材させて頂いた各団体は、普段から地域の魅力を発信すべく、活動を行ったり、X や Instagram でその活動を報告したりしている。今回、本プロジェクトでは、そのような団体に取材をし、番組のコーナーである「潜入調査」を制作・放送した。このコーナーを通して各団体の活動を発信することで、普段はその活動を目にしていなかった世代へも、団体の存在を伝えることができた。

次に挙げられるのは、香川県内にある産業、祭、神社などあらゆる分野の魅力について、ラジオを通して紹介できたことである。今回、本プロジェクトでは、取材させて頂いた場所に携わっている人たちへ取材をし、番組のコーナーである「数珠つなぎ企画」を制作・放送した。このコーナーを通して香川県の深い魅力を学生自体も発見し、伝えることができたと考えられる。

また、子どもセミナーを通して、地元の小中学生にラジオというメディアや香川大学について知ってもらうことができた。特に、番組制作だけではなく、メディアリテラシーの講座も行った。近年、若年層に浸透している SNS の運用方法やその正しい使い方を

教えることで、地元の小中学生や保護者に新たな知識を提供できたことは、評価できるだろう。

## 5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

今年度の活動によって本団体のメンバーには多くの知識や経験、スキルを身に付けることができた。得られたものとしては次の3つが挙げられる。

まず1つ目は、外部とのコミュニケーションである。具体的には、取材申し込みのアポイントメントの取り方や魅力を引き出せるような取材対象の団体とのトーク技術などだ。ひょうげ祭りや屋島寺、ちょうちんカフェなどの外部への取材は今の2年生が中心となって実行しており、1年生は上級生と一緒に取材することで、メンバー全体で外部とのアポイントメントの取り方についての経験やスキルを身に付けることができた。また大学内の潜入調査でもその団体の魅力が発信できる取材をするように意識することで、相手の話を引き出せるような質問や聞いていて面白い話のつなげ方ができるようになった。

2つ目は計画力と実行力である。取材では取材先を決め、企画を立てて、日程調整をした。また今年度ではメンバー全員が個人で企画を作るようになり、より企画力と実行力が身についたと感じる。これらの能力は自主自立が求められる大学生活に求められる能力だと考えられる。

そして3つ目は学内外の団体と交流ができたことである。団体を取材することを通して、地元の魅力を発見したり、今まで触れてこなかったような分野について知り、知見を広げたりすることができた。交流をより大きく広げていくことでこれからの選択肢を増やしていくことができると考えられる。

## 6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

ここまで述べてきた通り、今年度は前年度と同様に学内外への取材を行うことができた。しかし、前年度はレポートを取材において多く行っていたが、今年度は人対人、トークを主軸として取材を行うことを意識していた。一方で、本プロジェクトに所属している学生が多く、役割や体制の混乱が起きたこともあった。この体制の構築や役割の分担については来年度に向けての課題として挙げられるだろう。また、「Art Time Junction」に関しては計画通りに制作・放送を行うことができた。そして取材によって内容も裕実させられたのは、評価に値すると考える。

来年度について考えていることは、「潜入調査」の質を高めることだ。地域と関わり合っている団体や個人への取材を行うことを計画している。今後も本団体は、大学生の視点から見た香川を伝えるべく、活動を続けていく予定である。

## 7. 実施メンバー

代表者	白川 果歩	(経済学部3年)		
構成員	亀川 哲	(経済学部4年)	上野 綾子	(経済学部4年)
	徳田 凜	(創造工学部4年)	瀬川 菜子	(創造工学部4年)
	三戸 彩世	(創造工学部4年)	松尾 菜々美	(農学部4年)
	谷定 千尋	(経済学部3年)	中川 碧	(経済学部3年)
	高重 晴基	(教育学部3年)	森脇 由子	(教育学部3年)
	松尾 知咲希	(教育学部3年)	中村 彩乃	(法学部3年)
	足立 陸斗	(創造工学部3年)	蓮井 宏規	(創造工学部3年)
	浦野 利奈	(教育学部2年)	水本 莉麻	(教育学部2年)
	松本 春花	(法学部2年)	土屋 響	(創造工学部2年)
	吉岡 響	(創造工学部2年)	田尻 清照	(創造工学部2年)
	半明 大河	(創造工学部2年)	東山 ゆら	(農学部2年)
	古川 喜一	(農学部2年)		

## 8. 執行経費内訳書

配分予算額		123,000円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
電波使用料(FM高松)	9	5,500	49,500	
子どもセミナー	1	5,500	5,500	
取材_ひょうげ祭り	2		5,060	
取材_ちょうちんカフェ	1		2,220	
取材_屋島寺	1		2,780	
デジタルミキサー	1		45,980	
卓上呼び出しベル 4個セット	1		9,889	
油性マッキー				
スケッチブック			2,189	
ビニールテープ				
講演会に係る謝礼金	2		5,000	
合計			73,118	